

第69回 指定都市学校保健協議会

開催要項

平成30年5月27日（日）

アクトシティ浜松

第69回 指定都市学校保健協議会実行委員会

第69回 指定都市学校保健協議会開催要項

- 1 趣 旨 生涯を通じて健康でたくましく生きる児童生徒を育成するため、指定都市学校保健関係者が当面する健康・安全の諸課題を研究協議し、学校保健の進展を図る。
- 2 主 催 浜松市学校保健会 浜松市教育委員会
- 3 共 催 公益財団法人 日本学校保健会
- 4 後 援 文部科学省
- 5 日 時 平成30年5月27日（日） 9：00～16：30
- 6 会 場 アクトシティ浜松
浜松市中区板屋町111-1 TEL053-451-1111
＜全体協議会＞ 中ホール
＜課題別協議会＞ コンgressセンター
第1分科会（健康教育） 4階 41会議室
第2分科会（保健管理） 5階 52・53・54会議室
第3分科会（心の健康） 3階 31会議室
第4分科会（地域保健） 4階 43・44会議室
※申込状況により分科会会場は変更となる可能性があります。

7 主 題

「夢と希望を持ち、心豊かですこやかに生きる力を育む学校保健の推進」

【主題設定の理由】

昨今の社会環境の急激な変化は、子供たちの心と体の健康に様々な影響を及ぼしており、いじめ、心の健康、生活習慣の乱れ、アレルギー疾患、性に関する問題や薬物乱用、飲酒・喫煙等、多くの現代的な健康課題が顕在化している。

このような中、これからの社会を担っていく大切な子供たちが、生涯にわたって、心身の健康を維持し、夢と希望をもってはばたいていくためには、子供たちが健康課題に正しく向き合い、自らの力で健康的な生活を築いていくスキルが求められている。そのために、学校、家庭、地域及び専門機関等が連携を深め、社会全体で課題に取り組むことが重要である。

本協議会は、学校保健に携わる多くの参加者が、各々の専門的な立場から、様々な健康課題についての協議を深めることにより、子供たちが心豊かですこやかに生きる力を育むため、学校保健のさらなる推進を目指すものとする。

8 課題別協議主題

第1分科会	健康教育	「生涯にわたり主体的に心身の健康を保持増進する力を育む健康教育」
第2分科会	保健管理	「子供の健康の保持増進を図るための保健管理」
第3分科会	心の健康	「子供の豊かな心を育てるための教育活動と支援のあり方」
第4分科会	地域保健	「学校・家庭・地域の連携協働による学校保健活動」

9 日程

時 間	内 容
9:00~9:30	受 付
9:00~10:00	課題別協議会運営者会議
9:30~10:00	開 会 式
10:00~10:05	休 憩
10:05~10:25	全体協議会
10:25~10:45	休 憩
10:45~11:45	記念講演
11:45~13:00	昼 食
12:00~12:20	学校保健講習（映像教材）
13:00~16:25	課題別協議会
16:25~16:30	閉会式（各分科会会場）

10 申し込み

申込方法等につきましては、次頁をご参照ください。

11 事務局

第69回指定都市学校保健協議会実行委員会事務局

〒430-0929

浜松市中区中央一丁目2番1号イーステージ浜松オフィス棟5階

浜松市教育委員会事務局学校教育部健康安全課内

TEL 053-457-2422 FAX 053-457-2579

E-mail : kenkou@city.hamamatsu-szo.ed.jp

《協議会参加及び宿泊等申し込み・問い合わせについて》

【協議会参加・宿泊等申込方法】

所定の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、F A Xにてお申し込みください。
なお、電話でのお申し込みは受付いたしません。

- ◆お申し込みの着信後、3営業日以内に受領の確認書をF A Xにてお送りいたします。
- ◆お申し込み締切日 平成30年4月20日（金）

【参加費】

1名につき、7,000円 ※参加人数の制限はありません。
申し込み後、事務代行業者より、別途請求します。（振込手数料は、ご負担願います。）

【宿泊等】

宿泊費等のお振り込みについては、お申し込み締め切り後に事務代行業者より、別途請求します。（振込手数料は、ご負担願います。）

【参加・宿泊等 申し込み・問い合わせ先】（事務代行業者）

株式会社JTBサポート中部 中部MICEセンター
〒453-6106 愛知県名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート8階
TEL 052-212-7019 FAX 050-3730-4343

営業時間 月～金曜日 9:45～17:45 （土・日・祝祭日は休業）

総合旅行業務取扱管理者：匹田 晴隆

※(株)JTBサポート中部は、平成30年4月1日より(株)JTBビジネスネットワーク
となります。

【その他】

- (1) 参加申込後の協議会欠席につきましては、参加費をご返金できませんので予めご了承ください。ただし、研究資料は後日送付いたします。
- (2) 宿泊等のお申し込みに係る詳しい内容につきましては、別紙「協議会参加及び宿泊プランのご案内」をご参照ください。
- (3) 参加を希望される方で障がいをお持ちの方は、対応を配慮いたしますので参加申込書の記入欄（配慮希望の有無）に○印をご記入ください。

第69回指定都市学校保健協議会 次第

開催日 平成30年5月27日(日)

受付 9:00~9:30

1 課題別協議会運営者会議(9:00~10:00)

2 開会式(9:30~10:00)

- (1) 開会の辞 浜松市学校保健会副会長
- (2) 国歌斉唱
- (3) 開催市挨拶 浜松市長
- (4) 主催者挨拶 浜松市学校保健会会長
浜松市教育長
- (5) 来賓祝辞 公益財団法人日本学校保健会会長
- (6) 閉会の辞 浜松市学校保健会副会長

3 全体協議会(10:05~10:25)

- (1) 第68回協議会事後処理について 堺市
- (2) 第69回協議会運営方法について 浜松市
- (3) 次期開催都市の決定・挨拶

4 記念講演(10:45~11:45)

演題 挑戦する大切さ

講師 プロアスリート・大阪体育大学客員准教授 山本 篤 氏

[昼食 11:45~13:00]

映像教材による学校保健講習(12:00~12:20)

タイトル 「学校における食物アレルギー対応のシミュレーション」

制作著作 一般社団法人浜松市医師会

制作協力 浜松市教育委員会・浜松市消防局

5 課題別協議会(13:00~16:25)

6 閉会式(16:25~16:30)

課題別協議題と提言題

第1分科会【健康教育】

協議題	生涯にわたり主体的に心身の健康を保持増進する力を育む健康教育		
主旨	子供が自らの健康に関心を持ち、主体的に健康の保持増進に取り組む能力を育成する健康教育の在り方について協議する。		
協議の視点	○健康課題を解決するための主体的、実践的な態度を育てる健康教育の進め方 ○学校、家庭、地域、関係諸機関との連携による効果的な健康教育の推進		
指導助言者	東海学園大学	前客員教授 林 典子	
運営責任者	浜松市学校保健会学校薬剤師部	理事 川口 久佳	
司会者	浜松市立小・中学校校長(予定)		
口頭提言題 及び提言者	No. 1	自分の体を知り、自分ごとと思える健康教育を目指して ～横浜市体力向上研究校の授業研究会に学校歯科医が参加したら～	横浜市立間門小学校 学校歯科医 荒木 敏哉
	No. 2	病気を予防するために、学んだ知識を生かして行動できる 児童の育成 ～行動科学を生かした保健教育を通して～	名古屋市立笹島小学校 養護教諭 渡邊 恭子
	No. 3	生徒が主体的に活動する委員会活動	京都市立紫野高等学校 養護教諭 杉本 芙美子
	No. 4	行動変容につなげる健康教育	神戸市立高丸小学校 養護教諭 八木 泰子
	No. 5	北九州市薬剤師会の健康教育に関する取り組み について	公益社団法人北九州市薬剤師会 井上 正太

第2分科会【保健管理】

協議題	子供の健康の保持増進を図るための保健管理		
主旨	子供の健康の保持増進を目的として学校・家庭・関係諸機関が連携を図った保健管理の在り方について協議する。		
協議の視点	○学校の危機管理意識を高めるためのケガの予防、救急体制の充実に対する取組 ○健康診断、薬物乱用防止、心のケア等の充実を図るための取り組み		
指導助言者	静岡大学教育学部養護教育専攻	教授 鎌塚 優子	
運営責任者	浜松市学校保健会学校医部	理事 兼子 周一	
司会者	浜松市立小・中学校校長(予定)		
口頭提言題 及び提言者	No. 1	部活動における自作資料を使ったスポーツ 傷害予防の取組	千葉市立千城小学校 養護教諭 後藤 彩香
	No. 2	高等学校における眼の疾患・外傷と色覚特性について ～色覚特性を中心に～	川崎市立高津高等学校 養護教諭 石橋 清子
	No. 3	子どもたちが安心して過ごせるために ～保健指導・保健管理～	静岡市立清水中河内小学校 養護教諭 平出 紗弥
	No. 4	正しい知識を生かして、主体的に判断し、健康的な生活をしようとする子ども の育成を目指して ～喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の取組を通して～	岡山市立豊小学校 養護教諭 小林 淳子
	No. 5	熊本地震後の中学校における心のケアの実践 ～保健管理を保健教育に生かすためのマネジメント～	熊本市立楠中学校 養護教諭 池田 祐美 熊本市立清水中学校 養護教諭 徳永 貴子

第3分科会【心の健康】

協議題	子供の豊かな心を育てるための教育活動と支援のあり方		
主旨	豊かな心を育てるための教育活動と心の健康課題を解決するための支援の在り方について協議する。		
協議の視点	○子供の豊かな心を育てるための教育活動の推進 ○心の健康課題を解決するための支援体制の在り方		
指導助言者	常葉大学教育学部心理教育学科	准教授 太田 正義	
運営責任者	浜松市学校保健会学校医部	理事 本間 芳人	
司会者	浜松市立小・中学校校長(予定)		
口頭提言題 及び提言者	No. 1	「食」はみんなを笑顔にする魔法 ～健やかで心豊かな子どもの育成のための栄養教諭の取組～	札幌市立陵北中学校 栄養教諭 運上 央子
	No. 2	東日本大震災後の心のケア ～養護教諭の役割を中心に～	仙台市立八乙女中学校 養護教諭 伊藤 香奈
	No. 3	自己肯定感、人間関係能力を高める心の健康づくりの推進 ～「チーム平山」の取り組み～	浜松市立平山小学校 養護教諭 石田 まゆみ
	No. 4	子どもの生を輝かせるオール三原台中学校区の「みんなく」	堺市立三原台中学校 生徒指導主事 藤井 清司
	No. 5	コミュニケーション能力をキーワードに取り組む ～定時制高校の実践～	広島市立広島工業高等学校 養護教諭 新開 美和子

第4分科会【地域保健】

協議題	学校・家庭・地域の連携協働による学校保健活動		
主旨	健やかな子供の育成を目的とした学校・家庭・地域の効果的な連携協働の在り方について協議する。		
協議の視点	○学校、家庭、地域が一体となった保健活動の推進 ○地域の関係諸機関と連携して取り組む健康教育の在り方		
指導助言者	静岡大学教職大学院	特任教授 鈴木 秀志	
運営責任者	浜松市学校保健会学校歯科医部	理事 浅倉 達也	
司会者	浜松市立小・中学校校長(予定)		
口頭提言題 及び提言者	No. 1	ヘルス・プロモーティング・スクールの実現に向けて ～学校・家庭・地域がかかわり合いながら健康づくりに取り組める学校～	さいたま市立芝原小学校 研修主任 安齋 卓彌
	No. 2	相模原市立桂北小学校における実践研究について	公益社団法人相模原市歯科医師会 常務理事 江田 昌弘
	No. 3	学校薬剤師が行う薬物乱用防止教育の役割 ～身近な医薬品の乱用を防ぐために～	一般社団法人新潟市薬剤師会 学校薬剤師 貝沼 悠
	No. 4	「いのち いちばん」 ～学校・家庭・地域の連携を密にして～	大阪市立岸里小学校 校長 木戸 安子
	No. 5	家庭生活や学校生活に関心をもち健康によい生活を実践し続ける子どもの育成	福岡市立東月隈小学校 養護教諭 木村 奈稚子

※本要項の記載内容は、平成30年3月現在です。開催時には、一部変更になる場合がありますのでご了承ください。



©浜松市

出世大名

家康くん

出世法師

直虎ちゃん